



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー & プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.200000526/F/USA/JP

承認日: 2000年12月13日

作成日: 2003年12月1日

1 製品名

コダック ポリマックス RT デベロッパー アンド リプレニッシャー

CAT No.825 0425

25リットル用

2 危険・有害性の分類

- [濃縮液] : 危険: ハイドロキノン、水酸化カリウム、亜硫酸カリウム、亜硫酸ナトリウム、4-ヒドロキシメチル-4-メチル-1-フェニル-3-ピラゾリジンを含有。
飲み込むと有害。
眼と皮膚に炎症を起こす。
皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。
- [使用液] : 危険: ハイドロキノン、亜硫酸カリウム、亜硫酸ナトリウムを含有。
飲み込むと有害と予想される。
眼と皮膚に炎症を起こす。
皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

3 物質の特定

混合物

(濃縮液)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	70-75	007732-18-5	
亜硫酸カリウム	5-10	010117-38-1	
亜硫酸ナトリウム	5-10	007757-83-7	
炭酸カリウム	5-10	000584-08-7	
ハイドロキノン	2.4	000123-31-9	第一種 254 号
ペンテン酸、5ナトリウム塩	1-5	000140-01-2	
水酸化カリウム	< 1	001310-58-3	
4-ヒドロキシルメチル-4-メチル-1-フェニル-3-ピラゾリジノン	< 1	013047-13-7	

(使用液)

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	90-95	007732-18-5	
亜硫酸カリウム	1-5	010117-38-1	
亜硫酸ナトリウム	1-5	007757-83-7	
炭酸カリウム	1-5	000584-08-7	
ハイドロキノン	< 1	000123-31-9	第一種 254 号

4 応急措置

- 吸入した場合 : 症状が起きたら、空気の新鮮な場所へ移動する。
- 眼に入った場合 : (濃縮液)直ちに、多量の水で15分以上洗浄し、医療手当てを受ける。
(使用液)眼に入った物質を直ちに水で洗い流す。症状が起きたら、医療手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、付着した衣類、靴などを脱ぎ、多量の水で15分以上洗う。症状が起きたら、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。
- 誤飲した場合 : (濃縮液)医師の指示に従い吐く。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。直ちに医師に連絡する。
(使用液)コップ1~2杯の水を飲み、胃内で薄めた後、医療手当てを受ける。

5 火災時の措置

- 消火手段 : 周辺の火災に対し、適切な薬剤を使用する。
- 火災時の特別対応手段 : なし(不燃性物質)保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。
- 有害燃焼物質 : なし
- 異常火災 / 爆発の危険性 : なし

6 漏出時の措置

多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。

7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 眼、皮膚、衣類に付着させない。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。非アルカリタイプ(酸性)のハンドクリーナーを常用する、作業場を清潔に保つ、手袋の着用により皮膚への付着を最小限にする。
- 火災や爆発の防止 : 通常使用では、特に必要なし。
- 保管 : 密栓して保管する。

8 暴露防止措置

- 許容濃度 : ACGIH(TLV)
 ハイドロキノン: 2mg/m³ TWA
 水酸化カリウム: 2mg/m³ 天井値
 OSHA(USA)(PEL)
 ハイドロキノン: 2mg/m³ TWA
 水酸化カリウム: 2mg/m³ 天井値
- 換気 : 換気の良い場所で取扱う(10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。
- 呼吸器系の保護 : 必要なし
- 眼の保護 : 側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡の着用。
- 皮膚の保護 : 暴露の危険性を防止するために不浸透性の手袋と適切な保護衣を着用する。
- 浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 物理・化学特性

	(濃縮液)	(使用液)
外観	液体	液体
色	淡黄褐色	無色
臭気	無臭	無臭
沸点	> 100°C (> 212°F)	> 100°C (> 212°F)
蒸気圧	24mbar (18mmHg) / 20°C	24mbar (18mmHg) / 20°C
蒸気密度(空気 = 1)	0.6	0.6
揮発留分(重量)	70-75%	90-95%
比重(水 = 1)	1.24	1.05
pH	11.0	10.6
水溶性	完全	完全
引火点	なし(不燃性液体)	なし(不燃性液体)

10 危険性情報(安定性・反応性)

- 安定性 : 安定
- 不適合物質 : 強酸
- 危険分解物質 : 二酸化硫黄
- 危険重合物質 : 知見なし

11 有害性情報 (暴露の影響)

- 吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予想される。
 眼 : (濃縮液)炎症を起こす。
 (使用液)推奨された取扱をするば、危険性は低い。
 皮膚 : 炎症を起こす。皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。
 誤飲 : (濃縮液)有害。
 (使用液)有害と予想される。

12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測しています。本製品は強アルカリ性水溶液で、自然環境へ悪影響を及ぼすと考えられますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

- 予測される特性:
- 水質系に流出した場合、BOD は低く、酸素を破壊する可能性はほとんどない。
 - 水中生物への影響は大きい。
 - 生物分解処理は中庸。
 - 植物の発芽や初期の成長段階に影響を及ぼす可能性は中庸。
 - 活性化スラッジ中の順化していない微生物で生物分解する可能性が大きい(残存する可能性は少ない)。
 - 生物濃縮の可能性は少ない。
 - 大量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろう。

13 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物には該当しない。
 自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で、専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

- 廃棄物処理法(廃アルカリ)
- 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
- 下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

- Air Transportation
- Class :
- 国連番号(UN Number) :
- Proper shipping name :
- Subsidiary risk :
- Packing group :
- Passenger aircraft :
- Cargo aircraft only :
- Further information :

15 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR 法) : ヒドロキノン
毒物劇物取締法 :
労働安全衛生法 :
消防法危険物分類 :

16 その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意して下さい。